

主要行等の平成 25 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益が減少したものの、役務取引等利益や債券等関係損益が増加したことなどにより、前期に比べ 2.4%の増加。
- 当期純利益は、保有株式の減損処理が増加したものの、税効果会計に係る例示区分を変更した影響などにより、前期に比べ 26.7%の増加。

(単位：億円)

	23 年 3 月期	24 年 3 月期	25 年 3 月期	前期比
業務粗利益	65,168	65,380	66,347	967
資金利益	40,336	39,148	38,286	▲ 862
役務取引等利益	12,154	12,644	13,673	1,029
債券等関係損益	5,921	6,901	7,562	661
うち、債券等償却(▲)	▲ 274	▲ 229	▲ 221	8
経費(▲)	▲ 33,013	▲ 33,444	▲ 33,643	▲ 199
実質業務純益	32,155	31,936	32,704	768
与信関係費用(▲)	▲ 3,922	▲ 1,701	▲ 1,634	67
株式等関係損益	▲ 2,997	▲ 2,097	▲ 2,312	▲ 215
うち、株式等償却(▲)	▲ 3,499	▲ 1,986	▲ 2,686	▲ 700
当期純利益	18,504	17,486	22,152	4,666

※23 年 3 月期の与信関係費用には、償却債権取立益を含まない。

(参考)

	23 年 3 月期	24 年 3 月期	25 年 3 月期
貸出金(末残)	238.7 兆円	244.8 兆円	259.1 兆円

(注) 貸出金は銀行勘定計

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前期に比べ僅かに増加、不良債権比率は低下。

	23 年 3 月期	24 年 3 月期	25 年 3 月期
不良債権額	4.9 兆円	5.0 兆円	5.1 兆円
不良債権比率	1.84%	1.84%	1.78%

3. 自己資本比率の状況

- 国際統一基準行は 25 年 3 月期よりバーゼル 3 の適用を開始。

(国際統一基準行：6 行)

(国内基準行：4 行)

	25 年 3 月期
総自己資本比率	17.45%
Tier 1 比率	13.15%
普通株式等 Tier 1 比率	10.99%

	25 年 3 月期
自己資本比率	14.70%

(注1) 記載金額・比率は、四捨五入して表示。

(注2) 計数は単体ベース。ただし、一部の銀行において再生専門子会社の計数を含む。